



日本メーカーの大型 EV 路線バスを東日本初導入 富士急グループの路線バスで運行開始



(大型 EV 路線バス)



(小型 EV 路線バス)

富士急行株式会社（本社：山梨県富士吉田市）は、脱炭素化社会の実現に向けて、富士急グループのバス会社5社において、新型EV路線バス6台（大型4台、小型2台）を新たに導入しました。今回導入したEV路線バスは、国内メーカーが開発・製造を行っており、国内メーカーによる大型EV路線バスの導入は東日本で最初の事例となります。

今回導入するバスは、世界最高クラスの低消費電力システムにより、1回の充電で長距離走行が可能で、軽油やガソリンを一切使わない「二酸化炭素等排出ゼロ」となっているほか、走行騒音も大幅に抑制されている地球環境にやさしいバスです。また、車いすの方が利用しやすいスロープ付きの「ノンステップバス」であり、車内にコンセントやUSB端子も備えるなど、お客さまにもやさしいバスとなっています。

今後も富士急グループでは、環境保全への取り組みを通して、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成による、まちづくりへの貢献に努めて参ります。

【新型EV路線バス概要】

(1) 導入車両概要

①大型EV路線バス（全長10.5m）

車種：(株)EVモーターズ・ジャパン社製 F8 series2-City Bus

航続距離：280km(定速60km/h、負荷重500kg、エアコン未使用の場合)

導入会社：富士急バス株式会社、富士急湘南バス株式会社、富士急シティバス株式会社、
富士急モビリティ株式会社 各社1台、計4台導入

デザイン：環境にやさしい「電気のバス」であることが一目でわかるように、コンセントをかたどった「EV-BUS」のロゴをアイキャッチに、そのロゴマークから伸びる枝が富士山の緑に繋がることで、自然環境への配慮と世界遺産・富士山の自然を守り続けていこうという決意を表しています。

②小型EV路線バス（全長6.99m）

車種：(株)EVモーターズ・ジャパン社製 F8 series4-Mini Bus

航続距離：290km（定速40km/h、負荷重65%、エアコン未使用の場合）

導入会社：株式会社フジエクスプレス 2台導入

デザイン：このバスの運行路線である東京都港区のコミュニティバス「ちいばす」沿線の小・中学生による「港区に存在するもの」、「港区に関連するもの」、「港区をイメージさせるもの」をテーマとした募集による車両デザインと、港区内在住の方による「空と雲と緑という自然を表現した地球にやさしいバス」をイメージした「ちいばす」ロゴが施されています。

（2）運行開始日

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ・富士急バス株式会社（本社：山梨県南都留郡富士河口湖町） | 2023年4月22日（土） |
| ・富士急湘南バス株式会社（本社：神奈川県松田町） | 2023年4月22日（土） |
| ・富士急シティバス株式会社（本社：静岡県沼津市） | 2023年4月27日（木） |
| ・富士急モビリティ株式会社（本社：静岡県御殿場市） | 2023年4月29日（土） |
| ・株式会社フジエクスプレス（本社：東京都港区） | 2023年1月16日（月） |

富士急グループのSDGsの取り組み



「富士急グループは、ESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組んでおり、SDGsビジョンとして「2030年までに、環境目標を『負荷ネットゼロ&貢献』とし、富士山エリアを『リゾートシティ』とする、持続可能な地域社会を実現する」ことを目指しております。